

秋田・男鹿・潟上市長を表敬訪問



1



2



3

新年度を迎え、当JAの常勤役員が管内3市の市長を表敬訪問しました。

4月10日(月)に穂積志秋田市長のもとを訪れ、今年の農作業の進捗状況や同市園芸振興センターの研修を経た新規就農者、「サキホコレ」などの米の需給などについて情報を交換しました。穂積市長は「農業振興に関する要望があったら、JAから市へ伝えてほしい」と呼び掛け、農業支援の充実に向けた姿勢を見せました。

14日(金)には菅原広二男鹿市長と鈴木雄大潟上市長を訪問し、耕作放棄地の活用策や秋田県種苗交換会などのイベント、新規就農や移住の促進などといった地域活性化の話題が上がりました。菅原市長は「観光地の男鹿市にとって、農業や農地を維持することが地域づくりになる。より一層の官民連携を図っていきたい」と語りました。鈴木市長は「潟上市に雇用やにぎわいが生まれると、周辺の市町村の人口維持などにも繋がる。農業や地域振興に向けて様々な対応を考えていきたい」と話しました。

- 1 …市内農産物の需給動向などの情報を交わす穂積市長と当JA役員
- 2 …農業支援による観光振興や地域づくりを目指す菅原市長と佐藤副市長ら
- 3 …潟上市や周辺地域の活性化について話す鈴木市長



鎌田敏悦さんが優良水稲種子生産共励会で受賞

第31回秋田県優良水稲種子生産共励会で、(一社)耕壤会種子生産組合の鎌田敏悦さんが手掛けた「あきたこまち」が優秀賞(東北農政局長賞)に輝きました。鎌田さんの栽培技術や種子の品質の高さが認められ、表彰状が贈られました。

同生産組合は秋田市新成で「あきたこまち」と「サキホコレ」の種子を生産しています。4月7日(金)から14日(金)には育苗箱約1万8000箱分の播種作業が行われ、良質な水稲種子を生産するため綿密な栽培管理が進められています。

📷 水稲種子の品質の高さが評価された鎌田さん



6名が新規就農目指して研修スタート

4月4日(火)、令和5年度の秋田市新規就農研修の開講式が秋田市園芸振興センターで開かれまし。この春から9期生の6名が野菜や花きの栽培実習や模擬経営などを行い、2年後の就農を目指します。これまでに41名が同研修を終え、現在は来春の就農を目指す8期生の3名を含めて計9名が研修を受けています。

農家を継ぐため同研修に応募した同市金足の水沢優さんは「露地野菜を中心に、周年で収入を確保できるように冬期間に出荷できる作物なども学びたい」と話しました。

📷 新規就農研修への激励を受ける研修生